

ナビアスタイル 鋳物門扉用ヒンジ 取付説明書

- この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

施工時の注意事項

施工にあたっては次の点をご注意ください。

- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
- 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけると腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- 輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれている場合がありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
- 養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 施工完了後は扉の開閉チェックを行い、不具合がないか確認してください。
- 改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。

- 年に1回、ネジ・ボルト類の緩みがないか確認してください。

もくじ

梱包明細.....	1	2. 門扉の吊り込み.....	5
開きの確認とヒンジの組換え.....	2	3. ヒンジの調整・カバーの取付け.....	6
1. ヒンジセットの取付け.....	3	3-1 ヒンジの調整.....	6
1-1 スライドヒンジと持ち送りの向きの確認.....	3	3-2 ボルトカバーキャップの取付け.....	7
1-2 ヒンジの取付け.....	3	3-3 ヒンジカバーの取付け.....	7
1-3 スライドヒンジの取付け.....	4	施工工事店様、販売店様へのご依頼.....	8

梱包明細

- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無い確認してください。
- 説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

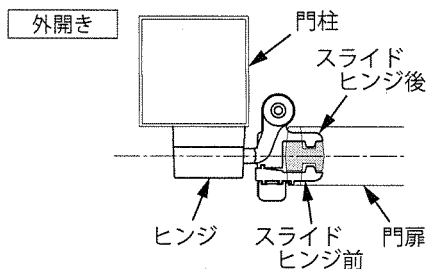
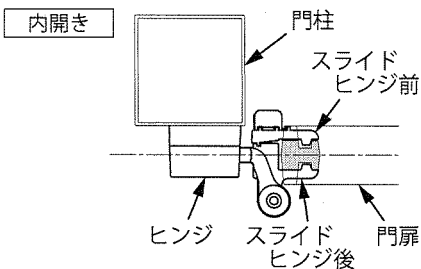
梱包名称	梱包内容 表内の（ ）は個数を表しています。
ヒンジセット	調整ヒンジ (2)・ヒンジカバー (2) M3 × 6 皿小ネジ (4) スライドヒンジ [上部用 (1)・下部用 (1)] ボルトカバー受け (2)・ボルトカバーキャップ (2) M4 × 10 皿小ネジ (2) シャフト [上部用 (1)・下部用 (1)] ヒジツボキャップ (2)・ナイロンワッシャー (2) M5 × 16 トラス小ネジ (バネ座金付) (8) ヒンジ取付金具 (2)・取付説明書 [ME-1898] (1)

門扉本体の取付説明書を合わせて参照してください。

開きの確認とヒンジの組換え

- 施工前に、門扉の開き勝手とヒンジの向きを確認してください。
- 当社のヒンジは現場で組替えを行うだけで、「内開き」・「外開き」・「内外開き」に対応できます。

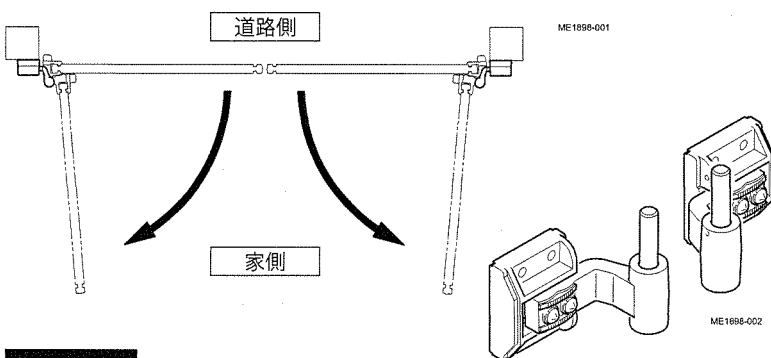
ヒンジ部詳細図



ME1898-006

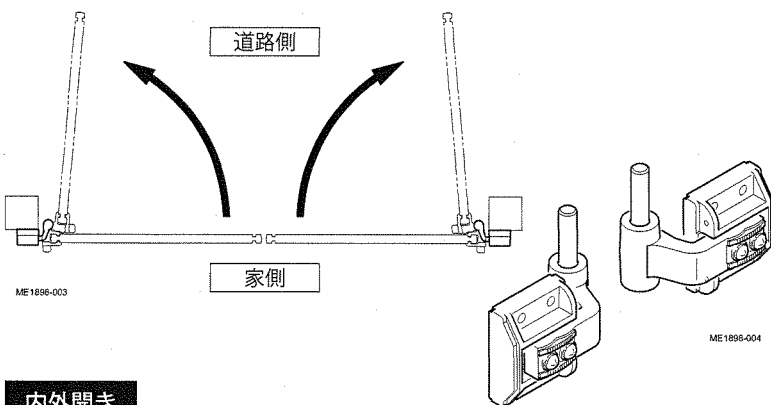
内開き

- 梱包セット状態のまま取付けてください。



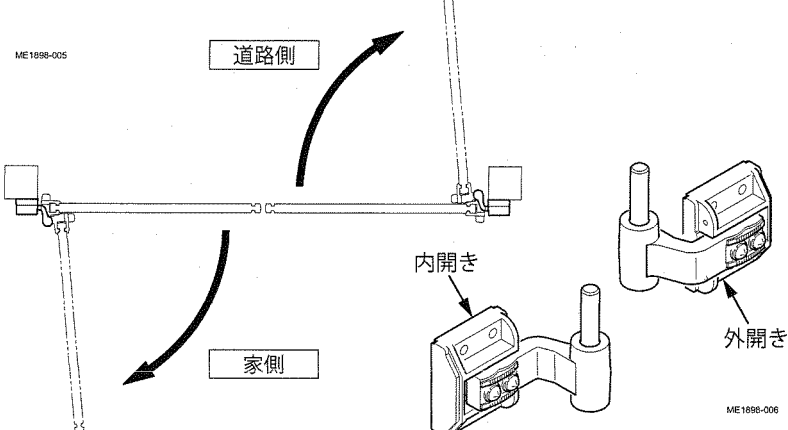
外開き

- 「ヒンジの組替え方法」を参照して、ヒンジを組立ててください。



内外開き

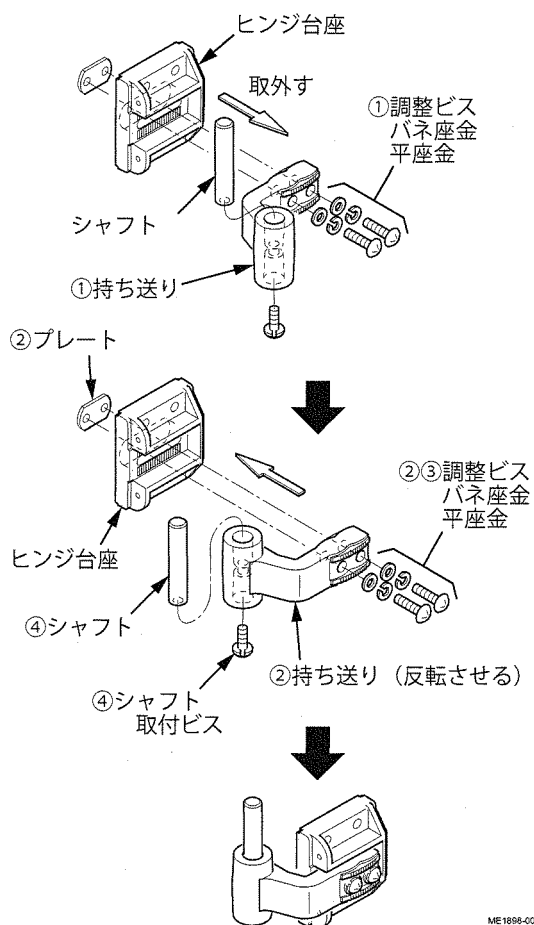
- 「ヒンジの組替え方法」を参照して、外開き扉側のヒンジを組立ててください。



ヒンジの組替え方法

※本図は内観右側のヒンジを、外開きにする場合を示しています。

- ①調整ビスを取外し、持ち送りをヒンジ台座から取外してください。
- ②持ち送りを反転し、調整ビスとプレートにて、ヒンジ台座に取付けてください。
- ③調整ビスで持ち送りの位置を調整してください。
- ④シャフトを取付けてください。



❗ 電気ドライバーなどで、ビスを無理に締付けないでください。
※破損の原因となります。

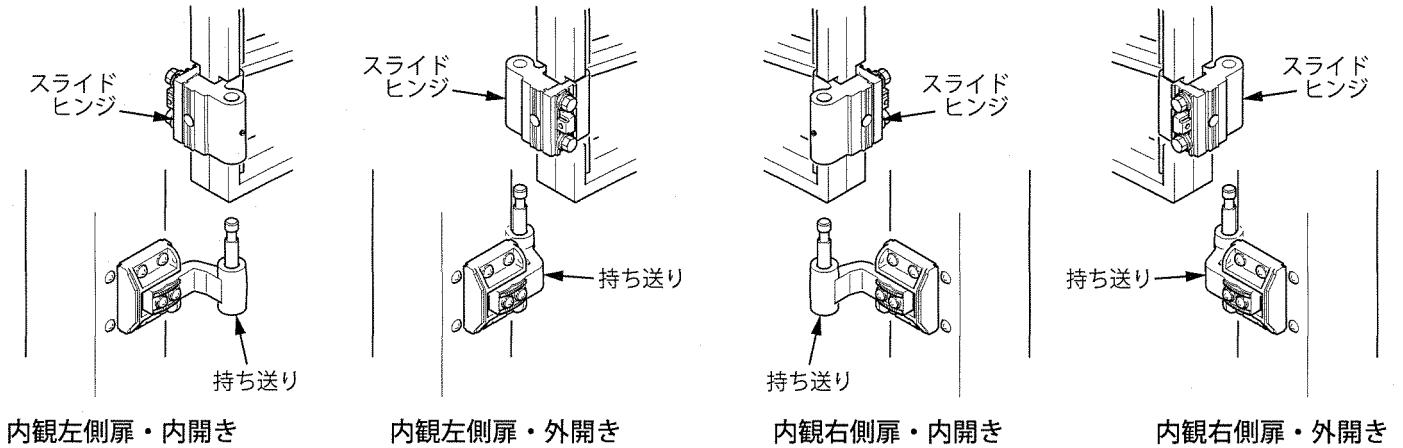
❗ 組替え時、ビス・座金類を無くさないように注意してください。

1

ヒンジセットの取付け

1-1 スライドヒンジと持ち送りの向きの確認

①前ページおよび下図を参照して、スライドヒンジと持ち送りの向きを確認してください。



ME1898-201

1-2 ヒンジの取付け

①門柱にヒンジを取付けてください。

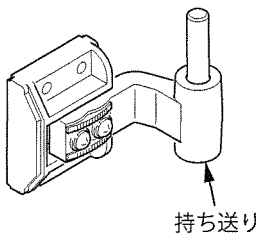


持ち送りの向きに注意して取付けてください。
※必要に応じて、ヒンジを組替えてください。
(前ページ参照)

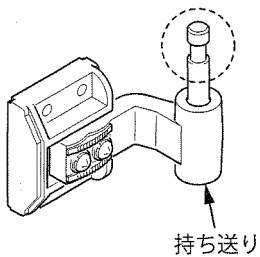


ヒンジには上部用と下部用があります。

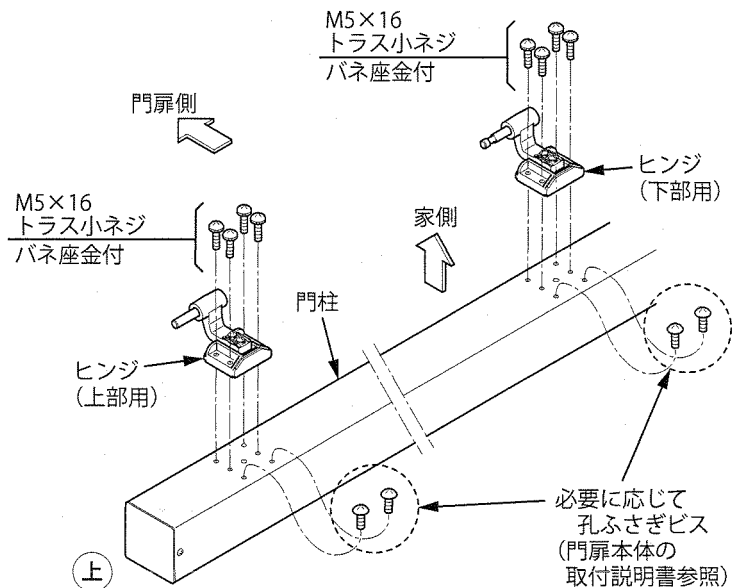
●上部用



●下部用



ME1898-102



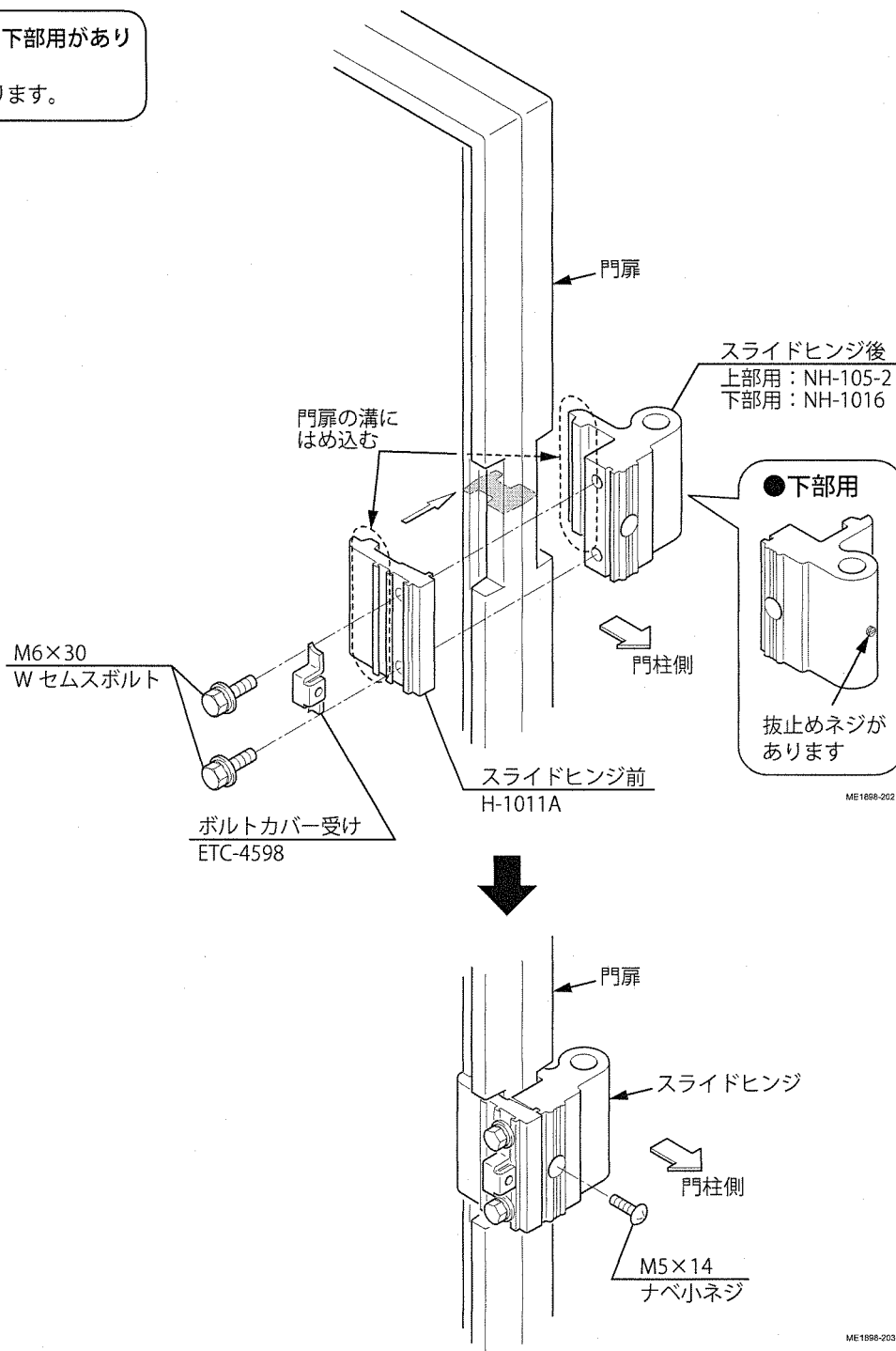
ME1898-101

1-3 スライドヒンジの取付け

①門扉にスライドヒンジを取付けてください。



スライドヒンジには上部用と下部用があります。
※下部用には抜止めネジがあります。



2

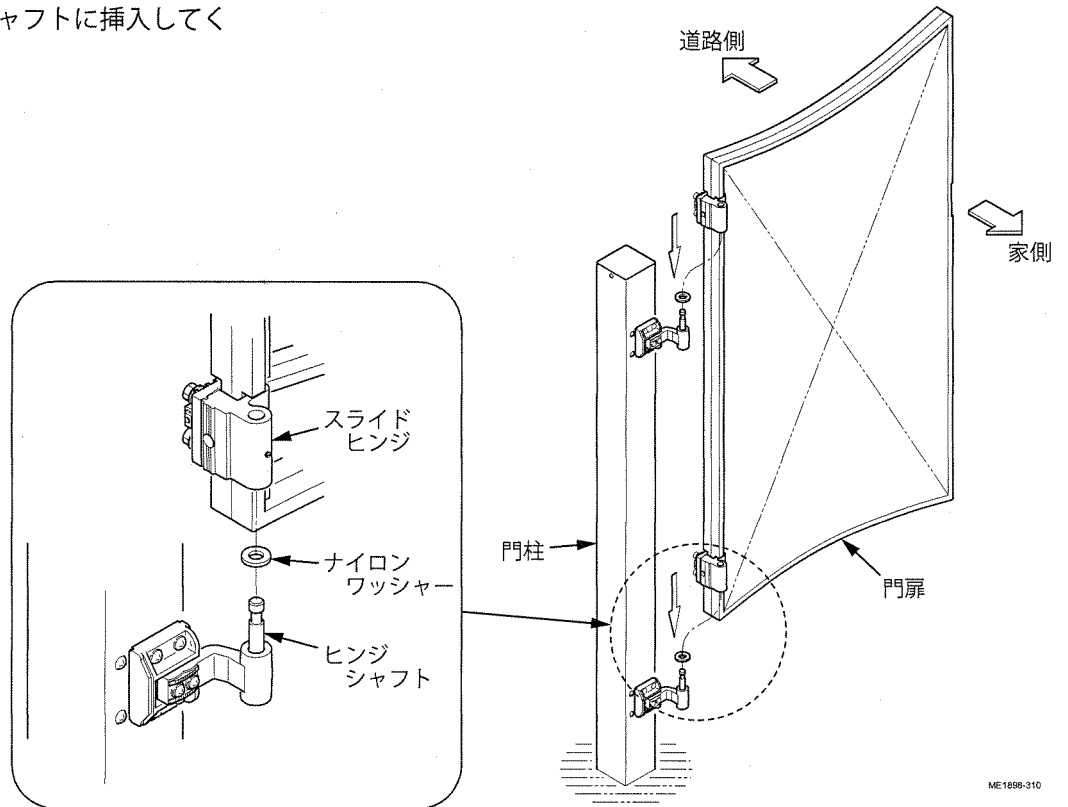
門扉の吊り込み

●門扉本体の取付説明書を参照して行ってください。

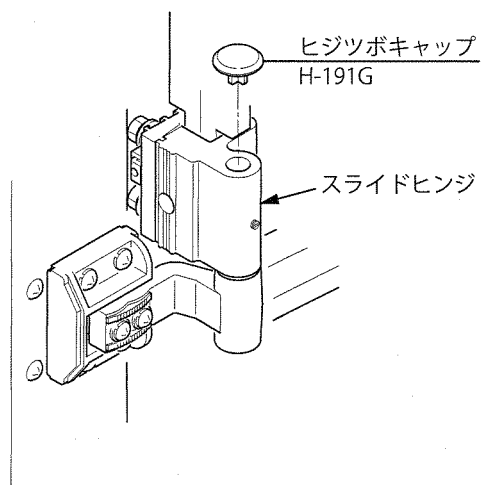


門扉の吊り込みの詳細については、門扉本体の取付説明書を参照してください。

- ①スライドヒンジをヒンジシャフトに挿入してください。



- ②スライドヒンジにヒジツボキャップを取付けてください。



3

ヒンジの調整・カバーの取付け



作業前に、門扉の吊り込みが完了していることを確認してください。

3-1

ヒンジの調整

①必要に応じて、ヒンジ位置を調整してください。



寸法については、門扉本体の取付説明書を参照してください。



左右を均等に調整してください。



調整時、ビスを緩め過ぎないでください。
※ビスが抜けないように注意してください。



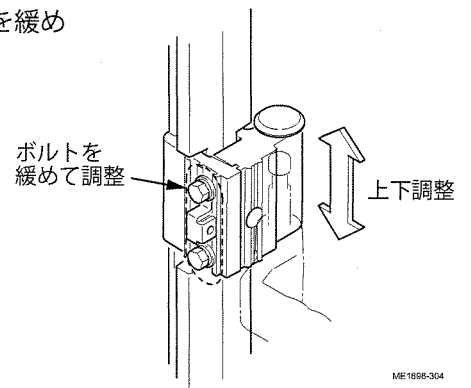
●左右・前後調整は、ヒンジの調整ビスで行います。

●どちらも行う場合は、「左右」→「前後」の順に調整してください。

※先に左右調整で持ち送り位置を決めてから前後調整を行うと、調整が容易です。

上下調整

●スライドヒンジのボルトを緩めて調整してください。



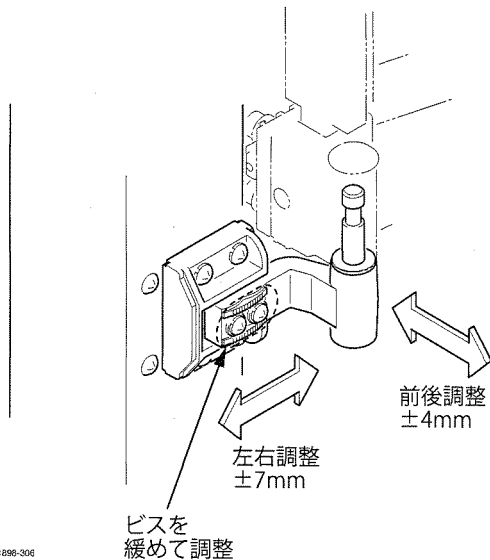
ME1898-304

左右調整 ※調整巾±7mm

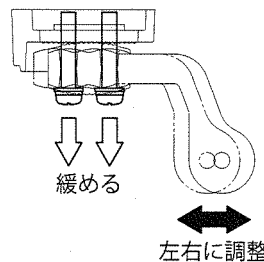
●ヒンジの調整ビスを緩めて調整してください。

前後調整 ※調整巾±4mm

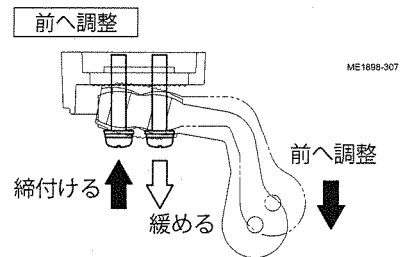
●ヒンジの調整ビスを左右それぞれ締付け、または緩めて調整してください。



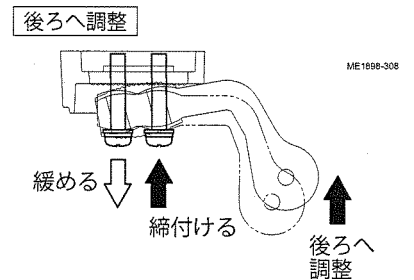
ME1898-306



ME1898-305



ME1898-307



ME1898-308

- ボルト・ビスを緩める時には、電気ドライバーを使用しないでください。
※緩め過ぎると、ボルト・ビスが外れてヒンジ位置が移動するなど、調整に支障がでる原因となります。
- ボルト・ビスの締付け時には、電気ドライバーで無理に締付けしないでください。
※無理に締付けると破損の原因になります。
- 調整後は、各ボルト・ビスを確実に締付けてください。

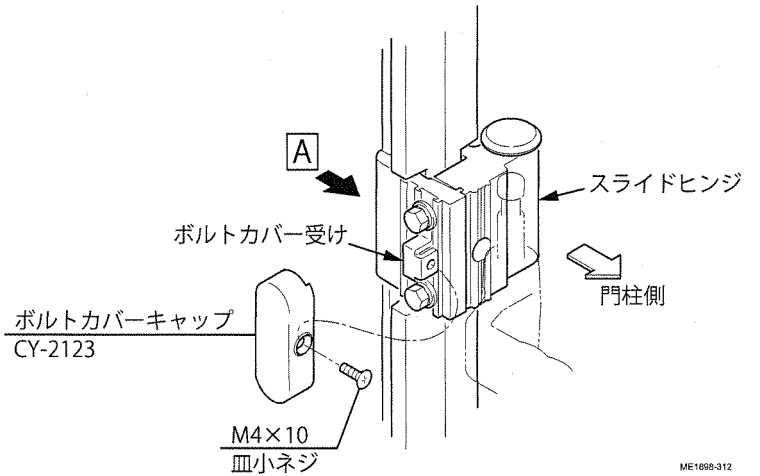
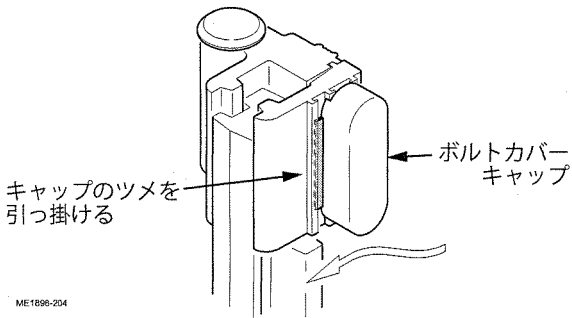
3-2 ボルトカバーキャップの取付け

①スライドヒンジのボルトカバー受けに、ボルトカバーキャップを取付けてください。



カバーの取付けは、ヒンジの調整後に行ってください。

● Aから見る

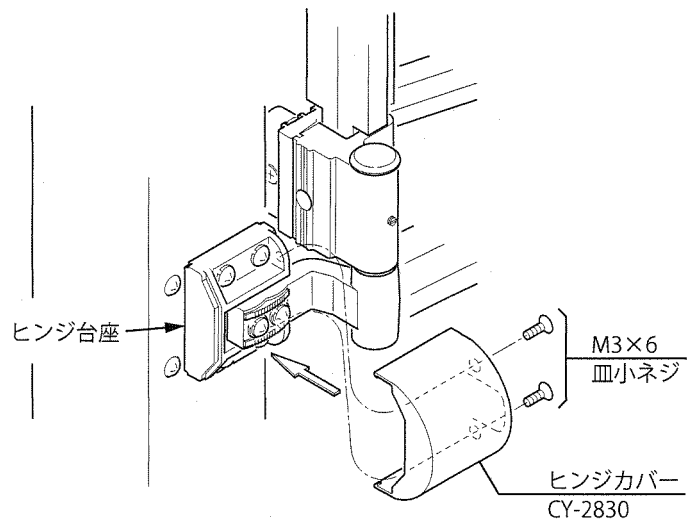


3-3 ヒンジカバーの取付け

①カバーをヒンジ台座に取付けてください。



カバーの取付けは、ヒンジの調整後に行ってください。



施工工事店様、販売店様へのお願い


- 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この取付説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施 工 完 了 日	年	月	日
施 工 工 事 店	TEL ()	-	
販 売 店	TEL ()	-	

商品へのお問合せは・・・

この商品についてのご質問やご相談は下記の窓口にお問い合わせください。

お客様相談室

 0120-37-2534